

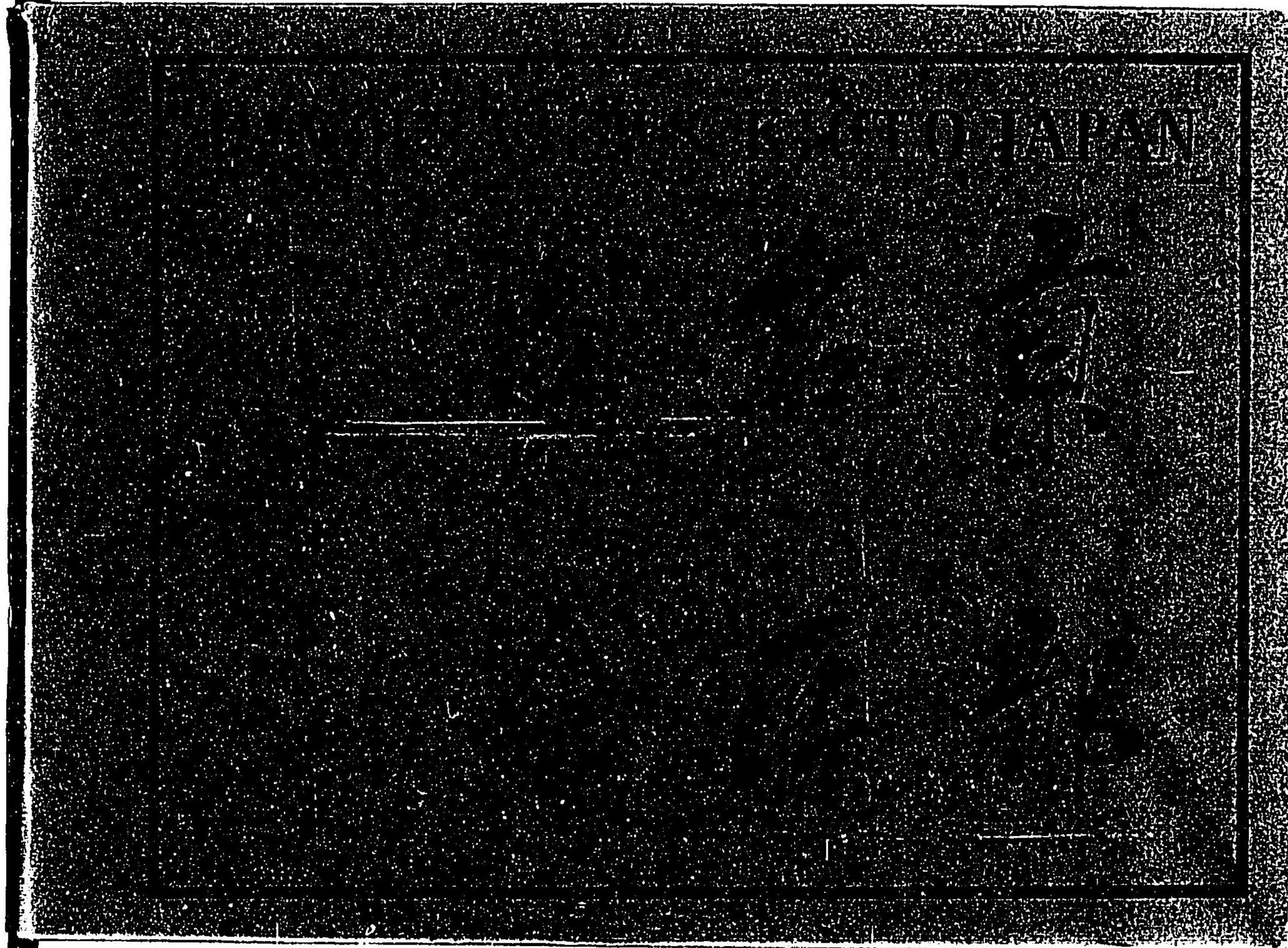


京都名所圖會下

特57

963





Rokkakudō.



六角書 六角通為の事在

天台宗頂法を号す本号如意輪觀音
淨觀念の靈佛あり号創り周明天皇二年
聖基聖德太子伽藍を建立し大江山野妹
子入道事務を為すとす西宮順礼十八萬札
所あり又他三坊派と号す立花及公生ら
号の宗元あり

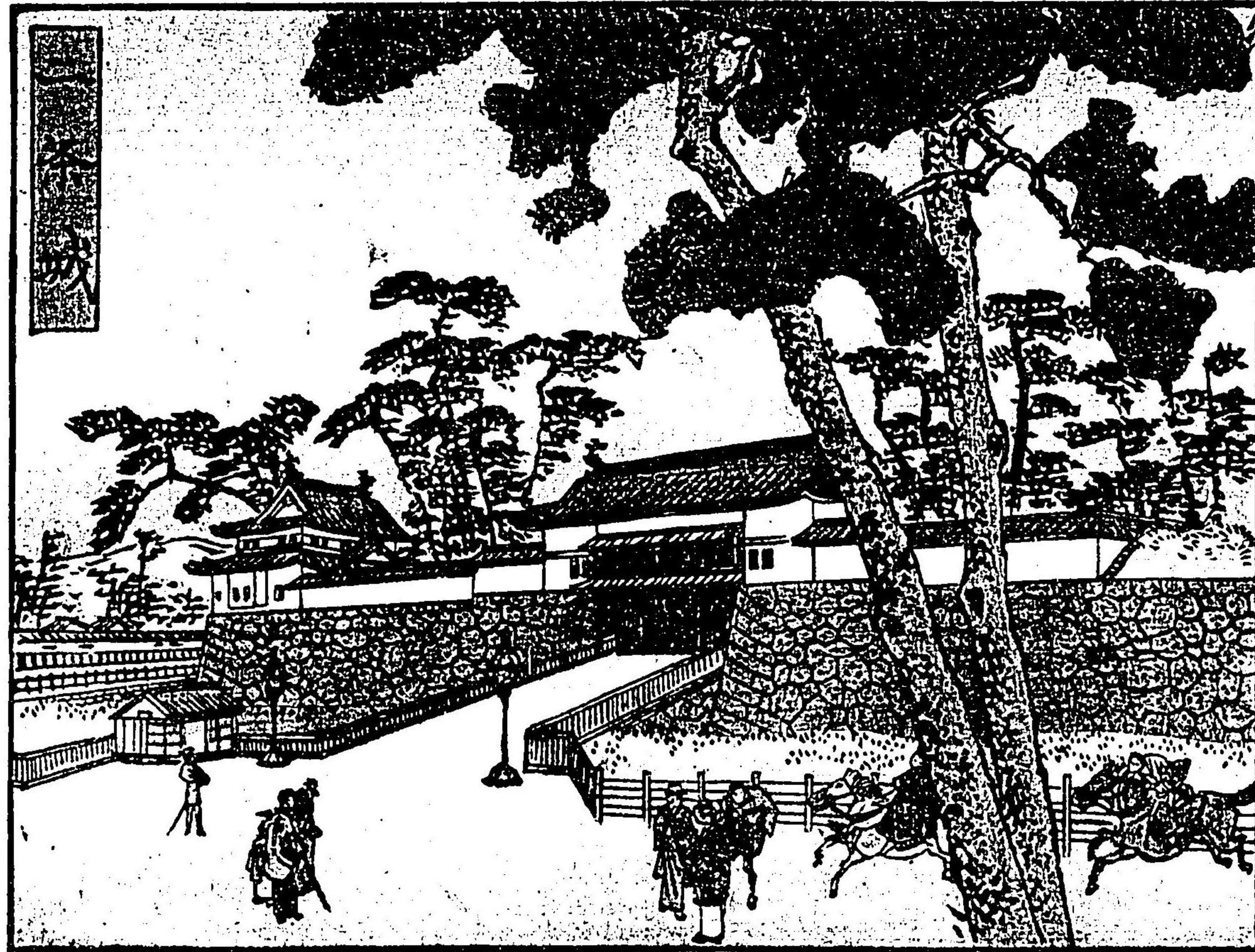
空也書 此寺の通稱所の事在

多佛宗聖基空也上人延喜帝第一皇子村
上天皇の乾疫病癒り死す者多し上人
憐れ觀音を造り柔峯を以て柔湯を和し
觀音を供奉すし柔峯を諸人よ稱す後す
者病平癒す故に是を吾創りて正月大禱
柔峯と号し市街と号す

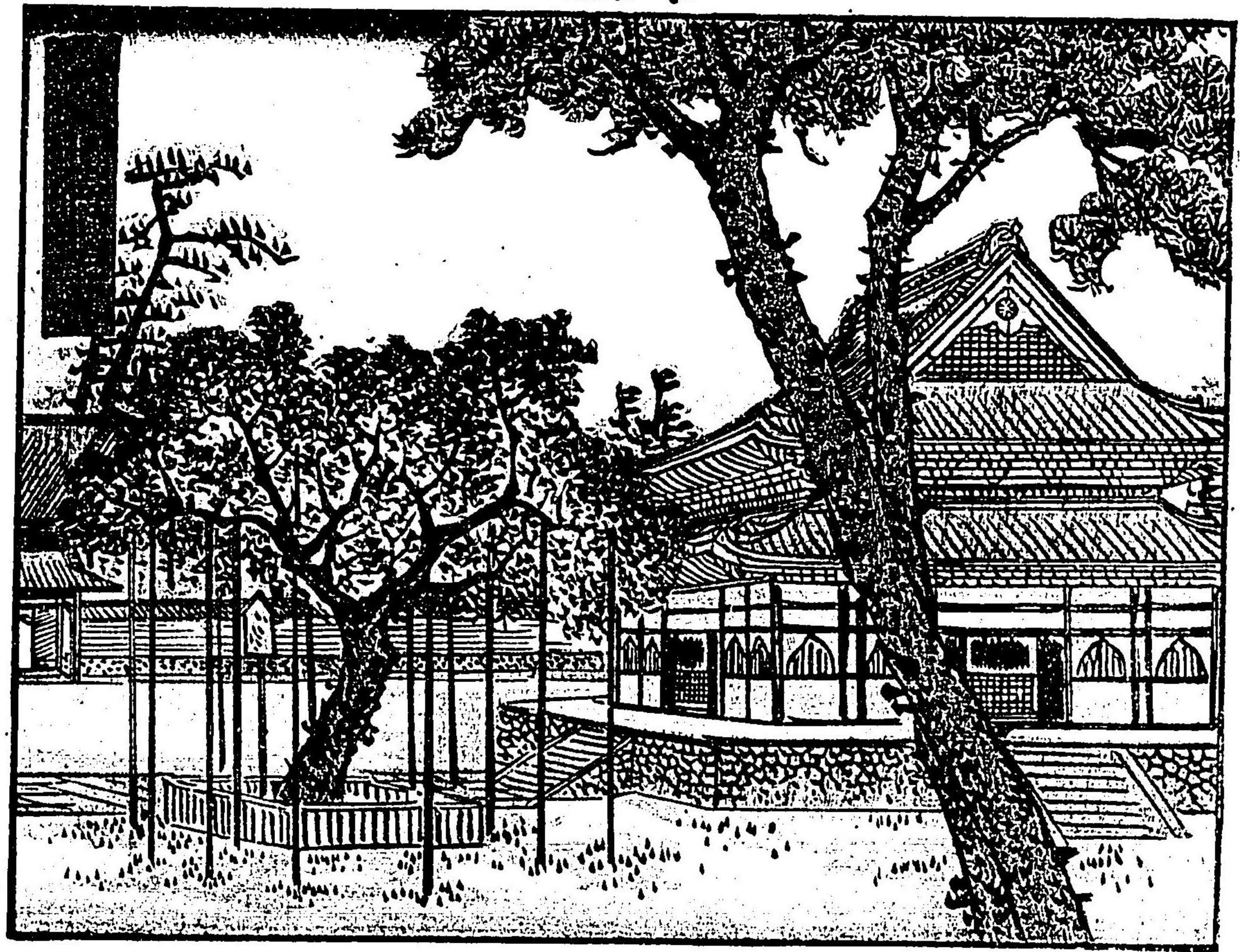
二條離宮 二條通堀川の西に在

上古冷泉院存り累代後院あり織田
信長修理し是利義昭を寺に遷す
後了生後徳川氏保儀す明治十七年
離宮と定む

Nijōshiro.



Daitokuji.



大徳寺

寺宮部車馬所大村

祿宗隆濟大徳寺所大村山界山大徳寺所法華寺を
建設す方丈を門菴と云惠法所建寺法醍醐天
皇授機頭を震源して獨山門の連教所宗長重毛
関千利休修理寺一休後所の生輝庵を修す

建勲神社

寺宮部新島山在

祭神傍太政大臣臣一佐織田信長公臣長孫中
將信忠卿を合祀す所俗八奉神馬を獨公別格
官幣社に列せしむ

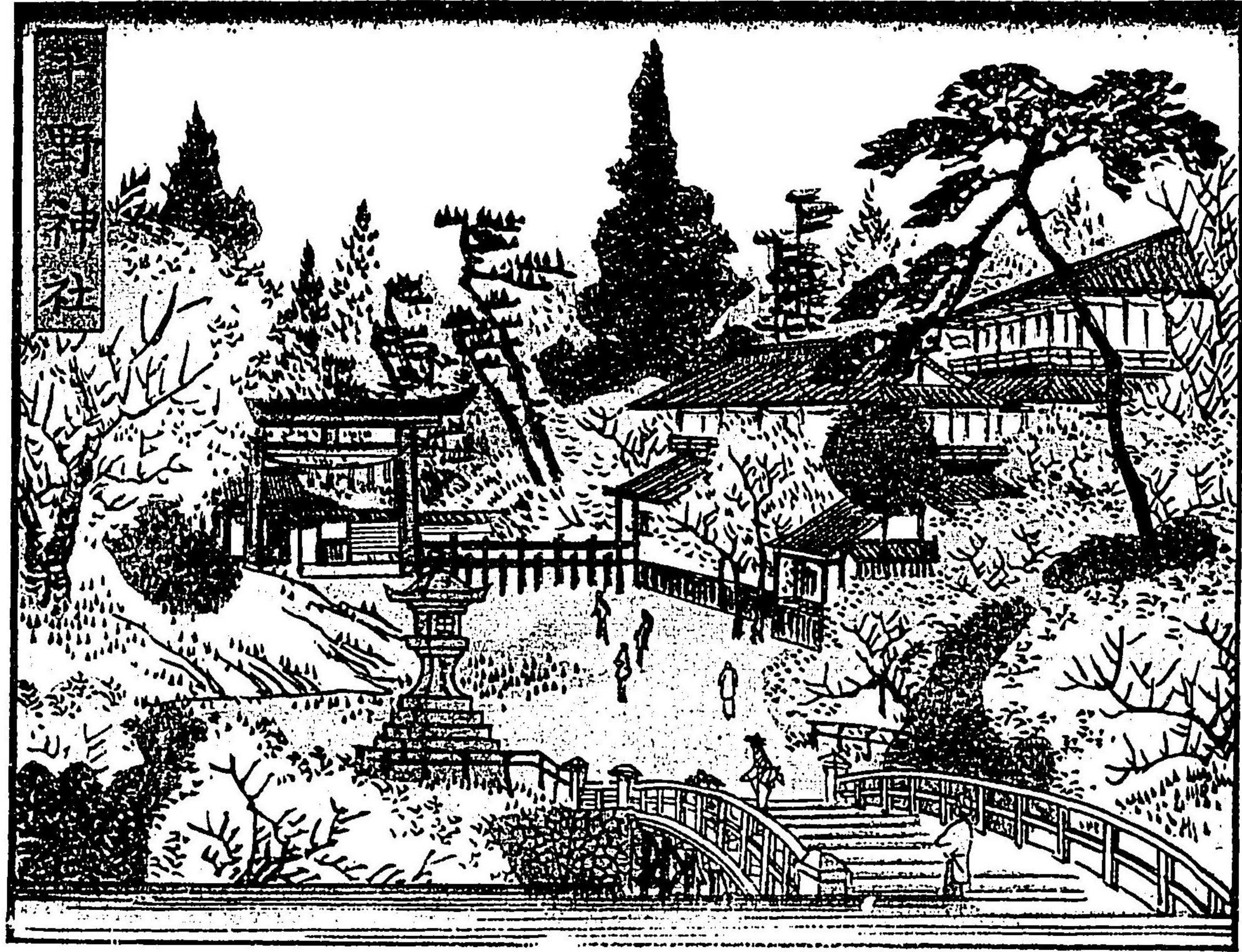
今宮神社

大徳寺の中在

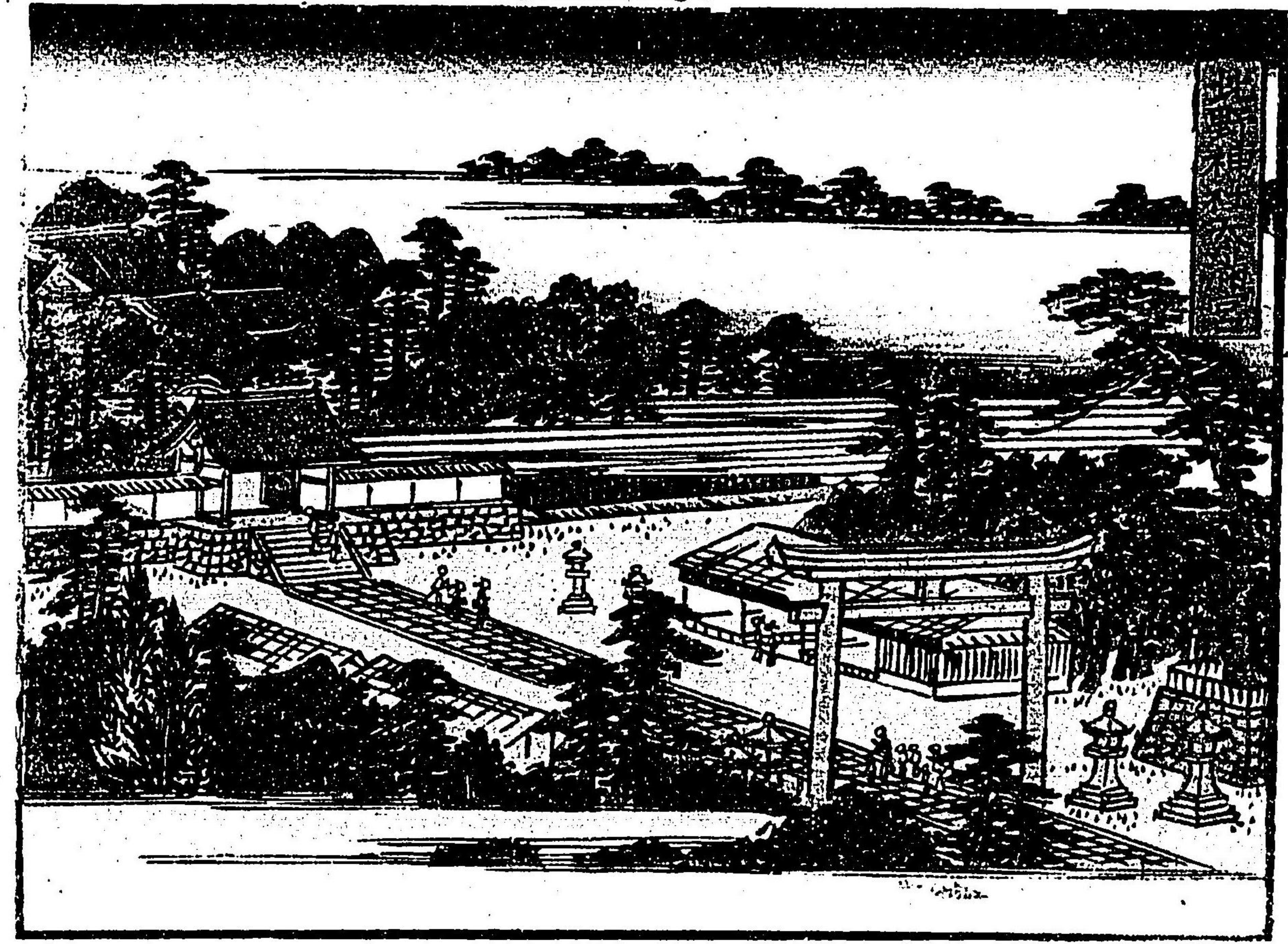
祭神大己貴命奉代至命素戔嗚尊多
官幣中社也野神社 高野郡小野在
天満宮

此神社正一佐方政大臣菅原道忠公中將殿を神女
曰上三任公の春濃是是郷の男也曰大臣時平の修言
用て方掌権帥は左邊せしむ延和三年二月廿五日
死所に於て甕す年五十九天養五年公の靈石系
七條の文子小宮宮あり也野古郷の馬場に構ん
と社を天満天神と崇べしと依て神殿を造り
村上天皇天曆九年初号天満天神と語す

Hiranojinja.



Kitanotenmangu.



Kinkakuji.



金閣寺

高野町長生山村に在

祿宗帝苑を号す皇創の足利義満公閑
居の別殿あり遺命に依て寺を築かば塔を建
し寺と号し七朝帝師を号す金閣三層にして第一
を実責頂と号す物類は後醍醐天皇の宸翰に
寫前の池を鏡湖池と号す浪河泉湧き流る水南天孫
皇の宗室の金雲宗和也小山等の風景の地を觀望する

平野神社

高野町小生山村に在

官幣大社也本神久度神高野神比咩神
聖祖天皇延暦年子の創立也清和天皇貞觀六
年神位正一位を宣す社内に松樹の檜数株を植す
等持院 長生山の南の麓に在

龍安寺

高野町の西谷口村に在

祿宗帝基義天和尙高古初に左大臣實経公山
莊より文治元年細川勝元清く寺と号す境内の池
を龍安池と号す風景一入奥あり

Miōbōjī.



妙心寺

首座在 花屋村に在

臨濟宗妙心寺派大本山 禪山 関山 玉沙 花園
天皇 祿字を 嚴整し 隆公 離宮を 草創 祿利
とく 妙心寺と号す 臨内 西園院に 法皇の 講
あり 寺也 二世 授為 和尙ハ 万里 外 路 孫房
卿あり 六世 雪江 和尙あり 四派に分れ 老
翁の大樹を 四派の 根と云 又 雪江の 根と号す
老大樹あり

仁和寺門跡

首座在 花屋村に在

旧 淨土宗 所と 稱す 崇言 宗 大本山 創主
ハ 孝天皇の 序 彰ふ 仁和 二年 大内
山の 藤原 氏を 創立の 詔在 宇多 天皇 御
て 初代の 傳 法 務 則 實 年 法皇と 稱す
金堂 中宮 阿彌陀 如来 脇 檀子 老 孝
天皇 号 彰を 安 天 傳 彰 堂 弘 法 大 師 安
境 四 小 橋の 名 樹 殿 一 後 山 八 十八 寺 あり

Omuroninwaji.



三寶寺

高野郡信濃の西に在

日蓮宗 巖山日護上人山上に釈迦如來を安す

栴尾高山寺

高野郡栴尾村に在

華嚴宗 本寺釈迦如來并基明惠上人

字雄山上受持院に俱舎密を續密系と

号実二學の九字児を持すは山に茶を始て

裁る風系の地すて紅系駈し

栴尾平等院

高野郡の北に在

法言宗 開基智泉法師本寺釈迦如來明

惠上人の作千手觀音聖徳太子の作を安す

Takaosin jizōm.



高雄神後寺

高野郡中島村に在り

坐言宗本寺高野郡中島村に在り弘法大師の作和
氣清磨御奏同少依て建立祀之神願寺と
号す淳和天皇天長二年空海小幡より後
神後寺と改む中興又賞上人住す薄幸の
丑大寺弘法大師の作之絶と名く播磨河
楓樹の名所少く紅葉の染ハ興の地在臨趾
より溪を見仰し都第一の風景少く都鄙の
風雅人羨み遊覧す

月輪寺

上流茶。在坐忘山の麓

天台宗本寺觀世音閣白九條兼実公閑居
の地坐言大沙の傍時雨の橋の名本在

愛宕神社

高野郡那波峯に在

知多神傳拜冊命雅火産靈命外四座を合
祀す大室を奉祀中角天石の蓋漸暖裁
万仞より加の嶺七界を祀地とす藤井茶
後中興す物を奉り 和氣清磨神殿
と造堂しつるヶ峯より移し坐忘山大
権現と勧請すとす

Atagoyama.



釈迦堂清涼寺

高野郡上嵯峨小在

注土宗本号釈迦如來天竺毘首羯磨の
作香木赤梅樹をて三國無双の靈佛あり
孝と祇雲精舎ふありて生後唐土小法
宗の代小日本に傳る永延元年法橋大周然
入唐一感得す佛牙拭法會四月十九日也

天龍寺

高野郡下嵯峨小在

祿宗五山第一陰陽天龍寺版大本山昇山
多及雲國師高山法普久後嵯峨天皇龜
山院天皇仙洞を造營の地也吉野山の極
を移し小倉山丈堰川を所始つゆ見四
季風多の地あり後醍醐天皇追福の考
是刹号氏堂字を建立す

嵐山

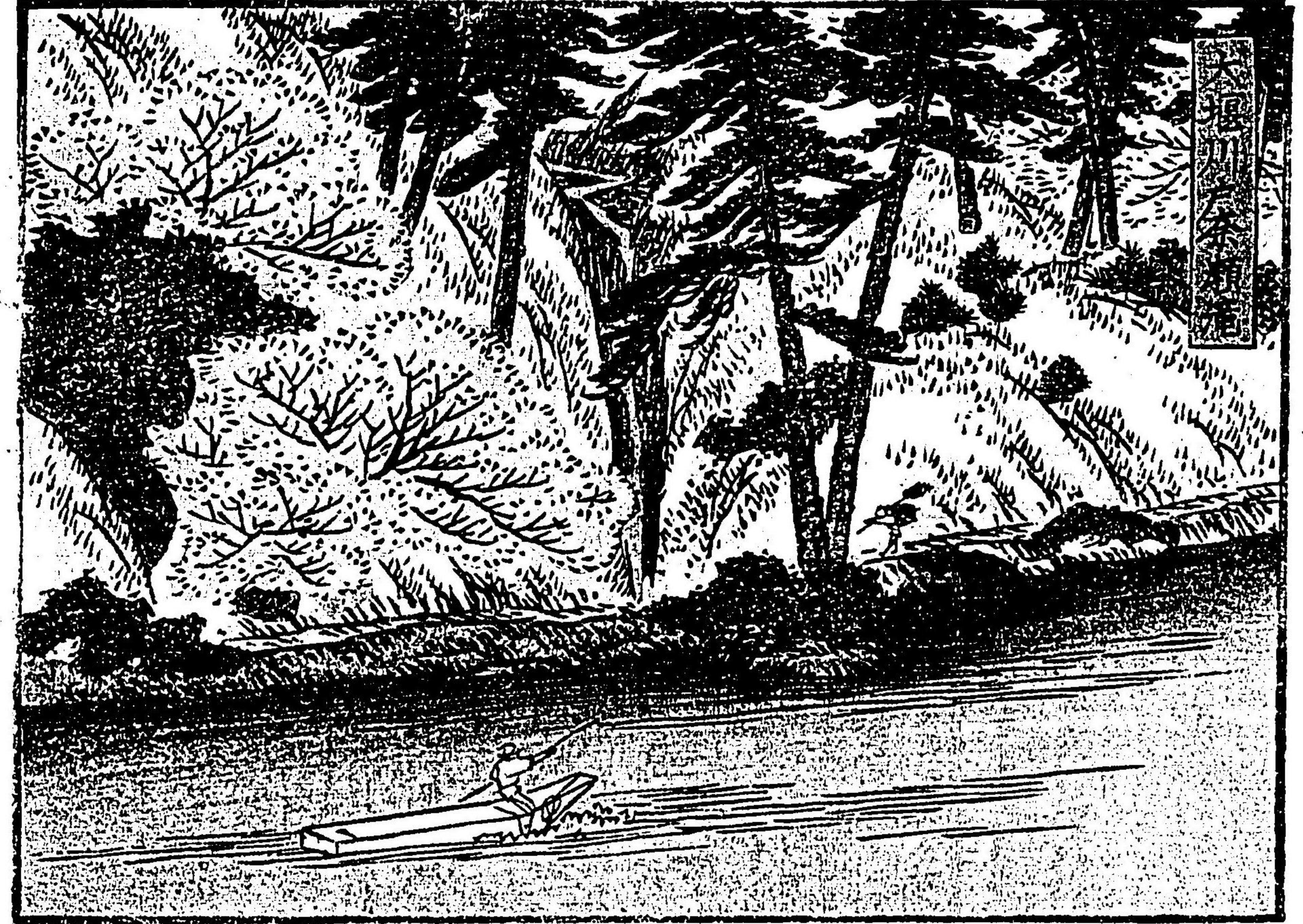
高野郡下嵯峨

山林中松楓數千株在て赫蘇を流る河を
大堰川と云水源ハ丹波保津川也大慈
閣ハ山上ハ在後月檜より七町西雪月堂
と号意別名在風系山檜第一の名
勝あり

A rashiyamatogetsu bashi.



Ōigawatonasenotaki.



法橋寺

嵐山の南に在

善言宗本尊虚空菩薩善薩道昌法沙作
天孝年間聖武天皇建立一終弘法大師
宗山住持善寸本寺の額の後陽成院天皇宸
翰也十三詣と謂例年四月十二日都鄙ノ貴
賤老若群衆をす

官幣中社梅宮神社

高野郡梅宮村に在

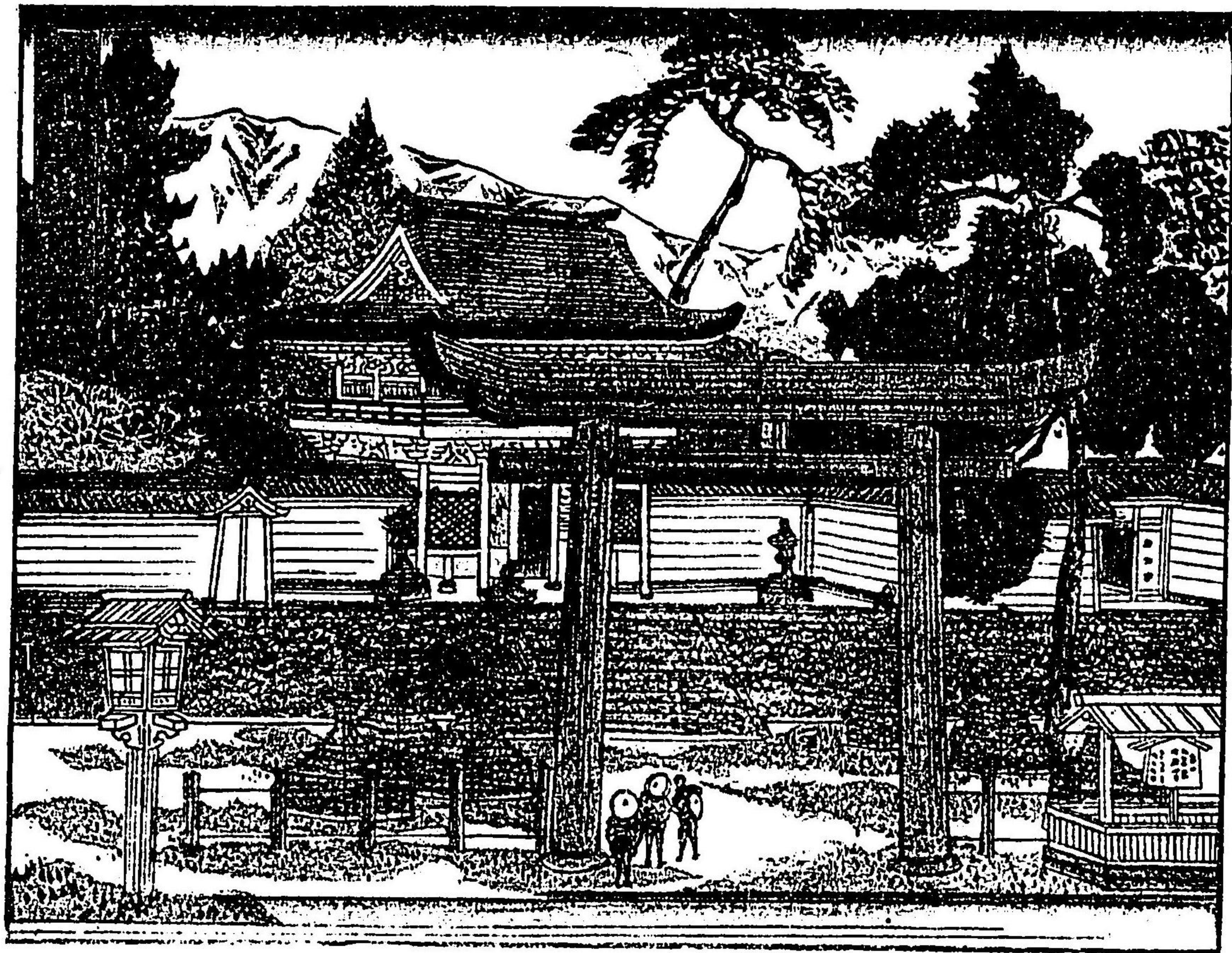
祭神酒解神十善子神小善子神外五尊を
合祀す社殿小善命神石在祭神木苑喫
耶那八酒造安産血脈を續く後神也檀
林皇后八當社少行て懐妊一白皇子を産
まぬ故小庶人崇敬す社内小牧殿一

官幣大社松尾神社

高野郡松尾山麓

祭神大山咋神市杵島姫神大宇之元年
秦都理詔をす一一大杉宮の神殿を
今の地ニ移す此神ハ酒の神を造る業を
掌り移す故大杉宮より湧出る神水を加
入して醸造す以必以腐敗の憂ありと
申傳へり

Matsuojinja.



挂川大橋

首形懸掛川に架す

大堰川の下流あり丹波湖通る掛甲川
の西に在り川の東を系極村と云はる所の土
橋を廢し板橋に架換長廿百六十五間巾
四万坪内西詰より七十二間板橋を造る

大原野神社

乙訓郡大原野村に在

官幣中社多岐氏靈樞命齋王命天
津兒原根命姫方神也創主仁明天皇
降幸左大臣冬嗣公の命に依て南都三
笠より遷都あり官幣に四月八日あり

元寺

乙訓郡大原野村に在

天台宗小治山勝持古と号し本寺兼沙
如來佛表大印作罪基波り者本寺の
歎小野道風の号西行極の号あり在

三鈴寺

乙訓郡原谷の上在

天台宗言津淨土之觀學本寺佛眼曼
陀羅觀性法橋の号本館兼三也山顶を
醫嶽と号す三峯在三祐小仏より板下
寺号と凡

善峯寺

乙訓郡小治山に在

天台宗本寺千手觀音弘法大沙の作
深基源兼上人長元二年建立靈巖あり
依て當山小仏より石上より七層瓦葺屋敷す法
華の嶮岨を平け去と云西國二十箇頃礼
の礼あり

柳

谷 東海を村の廿西に在

淨土宗西山派本寺千手觀世音度人
爰小冬を總して眼病平癒を行於す
十重珍著しく云延性信於感法寺像之
兼生野光の寺 乙訓郡兼生野村に在

淨土宗西山派大本山本寺兼光大師自作
の像也大師四國に在の時母の清白を依て
造る世に張筆の序新と号す阿彌陀寺
本寺大江野堅田淨土千佛佛の中寺
然若蓮生法沙の眉仏あり

式内向日明神

乙訓郡向日町に在

祭神鸕鷀羽菅原不合尊地皇神八日神
社大歳之神の禊子と白山権現同神あり

NAKAOKATENMANGU,



長岡天満宮

民田村の西に在

紀伊郡菅公孫朝也當社素弘法大沙羅基示
て佛國あり菅公在原業平朝臣愛小和歌今
を備る故に任信社を名にせし

天王山城跡

乙割山崎村

文明二年山名足冬赤松一族上洛して博
を築く親善寺の山の本腹に在

寶壽寺

親善寺の南に在

古言宗補陀落山室移すと号す本寺十
一面觀世音聖母にて皇行基菩薩の古作
什宝寺出の小櫃に於て持々を

離宮八幡宮

山崎市に在

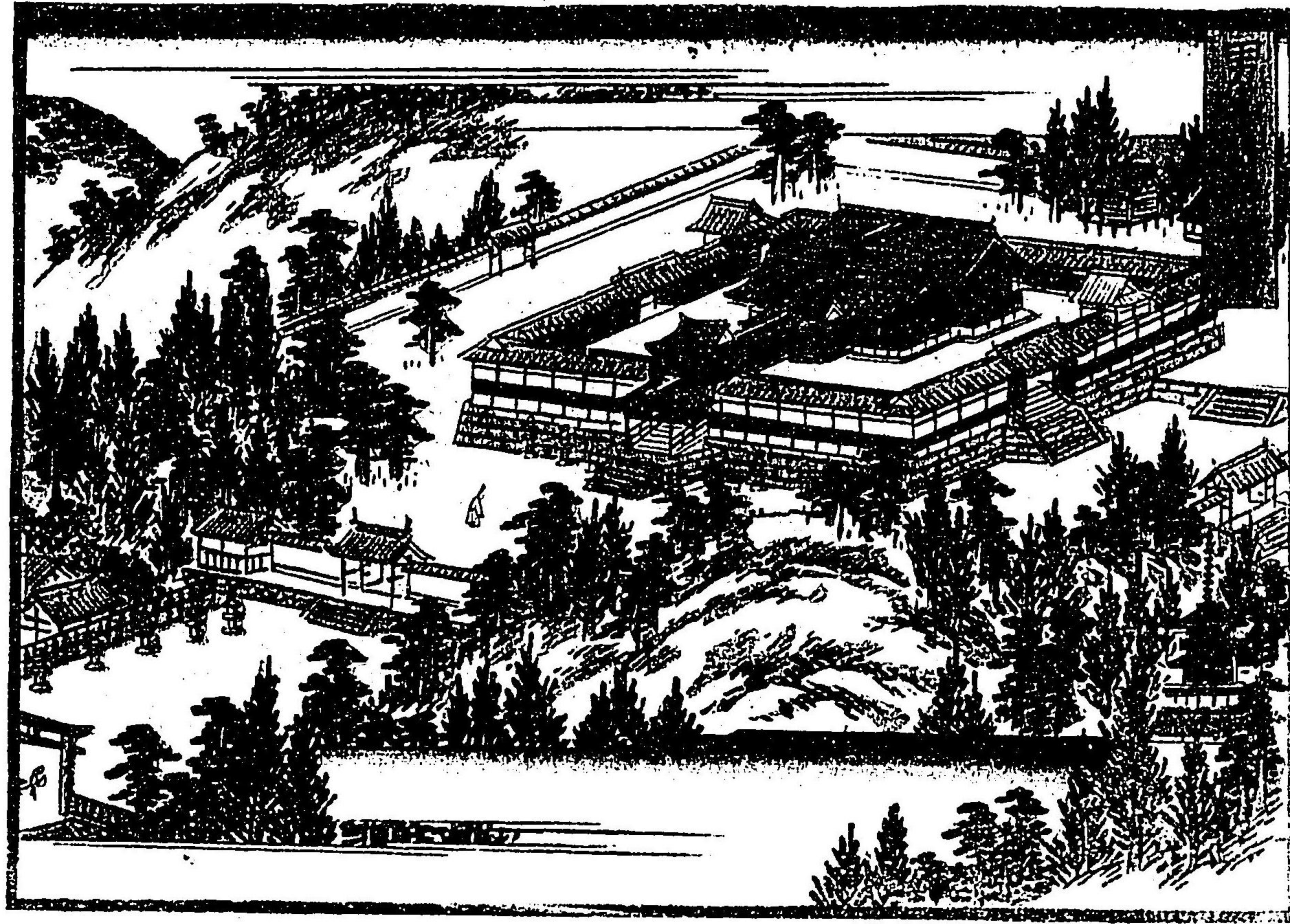
祭神應神天皇也孝仁天皇時移り
時行在所を離宮とし移りてを神殿とす
故に離宮八幡と稱す

式内真幡寸神社

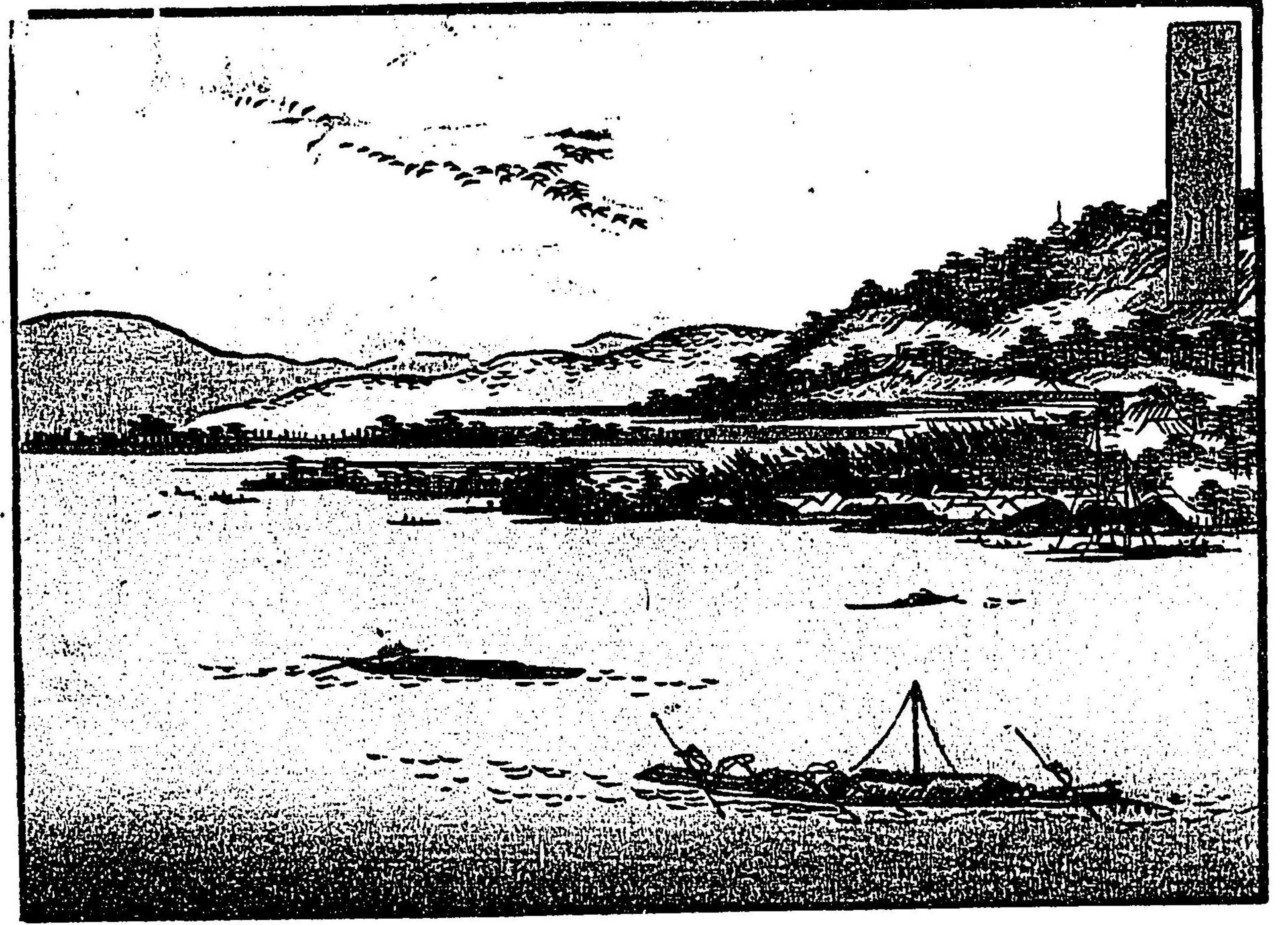
紀伊郡下を向村に在

博南宮と俗稱す祭神息長命姫神八年
卯あり庶民家造樽居号ふ方除の神と
崇敬す

Otokoyamahachimanjinsba.



Yodogawa.



渡川渡

渡の渡りと云者ハ船渡あり也六公大橋を築

す孝文初四年兵火不罹焼亡す

男山神社ハ幡宮

源平終男山不龍能

官祭大社祭神應神天皇比咩大神神功皇
后也清和天皇貞観八年大和國大安寺の
修行者お神説ふ依て孝文國宇佐郡小

倉山より遷す

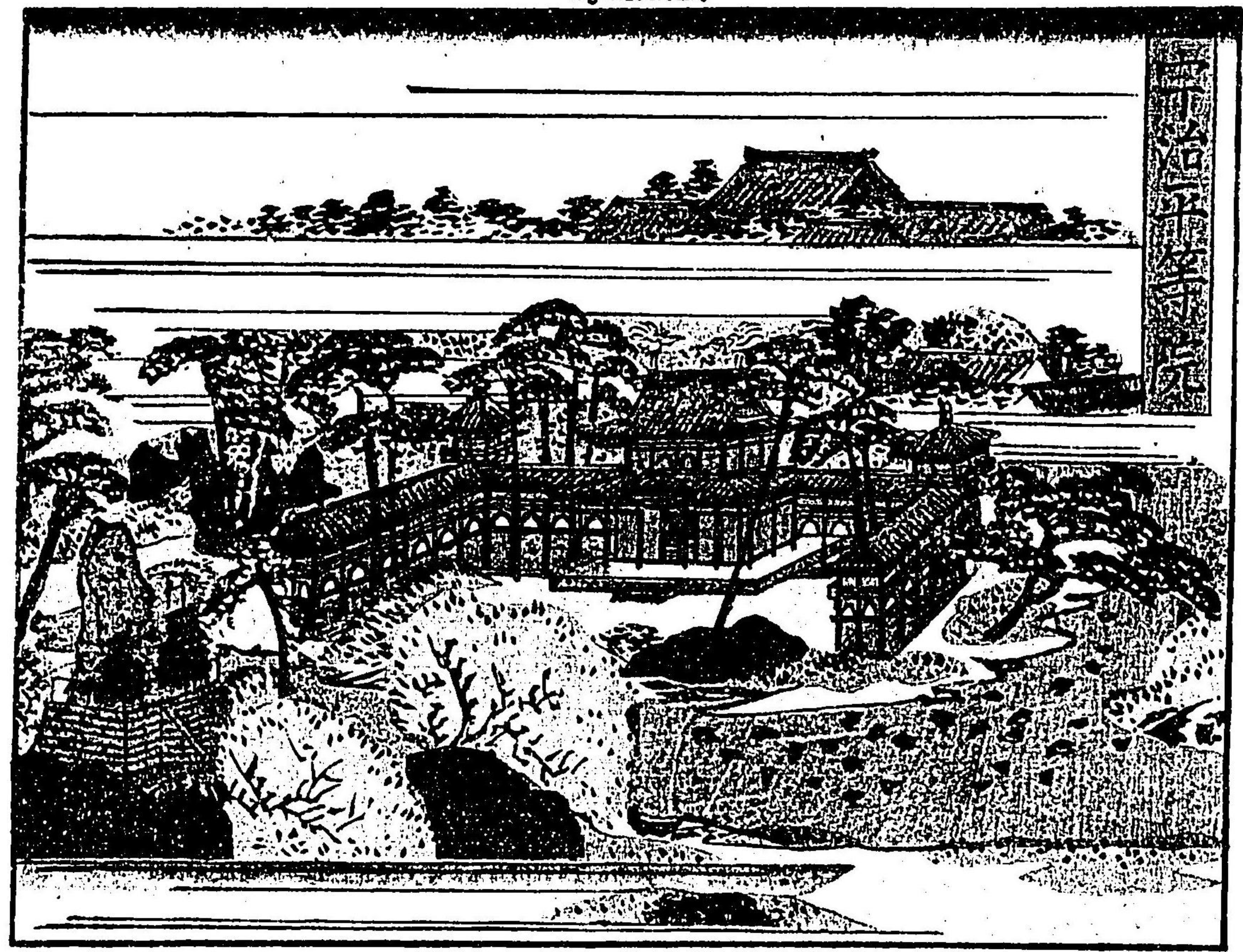
伏見里清幸宮 紀伊郡

祭神神功皇后也拆殿橋の北山城
より橋より又伏見里の天正文禄孝公在城
以降諸侯邸諸士高軒と連綿不且す北山
ハ豊臣殿下城郭を築孝文五年石田三
成滅亡城中殿舎を各所に移し一ノ後
山丘ハ樅樹を栽遊園の地とす

宇治平号院 久志郡宇治橋の南

天台宗本号院跡院の末寺ハ在嚴美麓
にて佛殿ハ鳳凰を彫り故ハ鳳凰寺と云
系紀念碑ハ昭和三十二年建設す河原子在

Ujibidōin.



五
十
三
年
平
等
院

宇治橋 宇治川ニ架す

孝徳天皇大化二年元興寺道昭和尚初て架す長サ八十三間余治義平の戦三井古法沙大軍を驚の一佐々本高塚橋系源を先陣を率公ハニの間の水を賞案の湯子親ハ今ハ螢の飛を具す後快哉

興聖寺 宇治橋の南ニ在

祿宗曹洞派開基道元禪師中興案安和尚正保年弓原交の里より移す表の前を琴坂と号す古例ハ山崎を遷垣とす

三宝戸寺 大塚古村の東ニ在

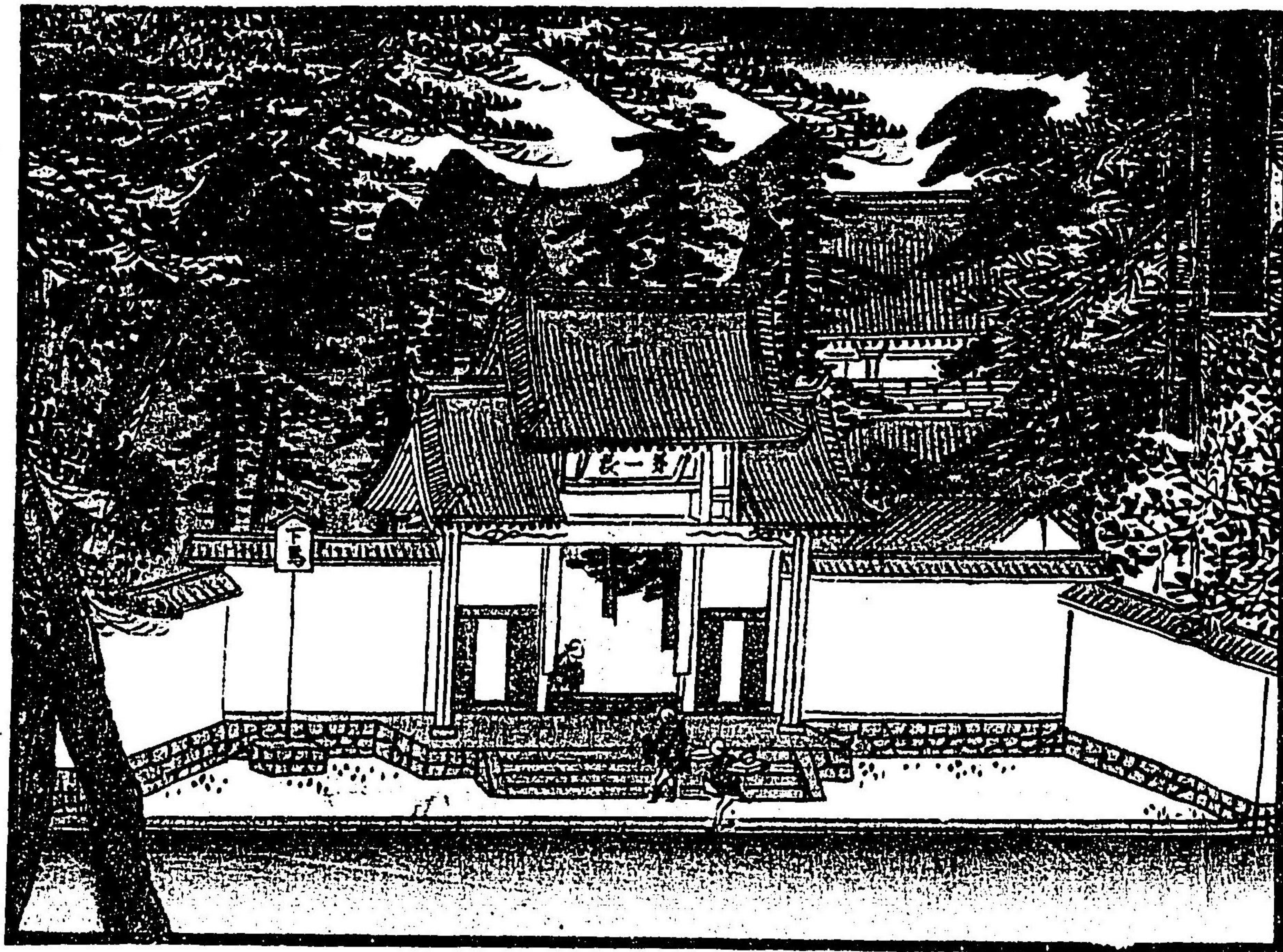
天台宗本号千手觀世音ハ宇治川の東岩淵の石底より出現す昇基智證大沙西必

順礼弟子書札の札あり

黄檗山萬福寺 宇治郡定通ニ在

祿養樂宗大本山本号釈迦如来坐像伝大明國平官相国生の際刻也界山隱元大師大明禪師の人伽藍ハ震旦黄檗を指す

Ujiōbakusan.



日野薬師 日野村に在

告言宗本尊金剛座像皇愛作者高山
日野資業師匠の本願に依て伽藍を建立
す婦人乳の乏しき者祈禱すれば冥路有り

醍醐寺 少弐の南麓取山に在

告言宗上の醍醐と号す本尊如意輪觀世
音菩薩在西山順礼弟子齋札所あり

三寶院門跡 宇治郡醍醐村に在

告言宗本尊茶師如来冠山聖寶佛正理
源大師延喜四年の創立也修驗道を垂爲山
派と号す冠山寺に弘法大師を安す

勸修寺門跡 宇治郡勸修寺村に在

告言宗本尊千手觀世音延喜帝御等
身の尊像あり醍醐帝后母右宮胤子の尊
創あり

元慶寺 山神卿山冠山村に在

祿宗隆海派本尊茶沙如来願檀よ冠山
院法皇尊親佛正遍正自作の像を安す



府社 藤森神社

伏見河通後表

紀伊神舍人親王早良親王御孫親王之孫又
日本武功の神を祀祀す神氏天皇神功
皇后日本武尊武内宿禰大臣等弓兵
政所と稱す天平宝字三年皇子舍人
親王を崇道尽敵皇帝と稱す天徳元
年崇古日本を攻んとする早良親王天
將軍と稱す征伐す崇社に祈り五月
廿日出陣暴風起り崇古を海中に沈没す吉
例と創祭に甲冑を着し神樂を催す

官幣大社 稻倉神社

伏見河通後表

紀伊神宇迦之降魂大神、佐田彦大神、大宮經
賣大神、田市社、四大神、大八島社、已上五座
元明天皇和珣四年二月初午の日稻倉
山之箇年、禰上經齋、幸きり延喜
八年、原原時年、公之箇社を之と奉
遷す天心十七年、孝臣秀吉、公本社を遷
嘗今の本殿是也

Fushimimarijinja.





Tōfukuji.



東福寺

伏見新屋一の橋の南

祿宗五山第四東福寺辰大本山并山聖一
國沙季創ハ四條院天皇延喜元年九條
園白道家公建立山門妙雲閣の額ハ是利
義持公の書佛殿本堂釈迦如来法堂を
遊考堂と号す額ハ經山每津の号天井
幡籠ハ北殿司の画涅槃像の大幅北殿司
形感と号す稲荷山の字本を隆の号小羽の
号を画く今隆の具儀アリ

新熊野觀音

今熊野村在

此言字本号觀世音弘法大師の作季創
ハ山本左大臣の本形也此山法皇與引
五ヶ方為國順礼并十五番礼所あり

泉涌寺

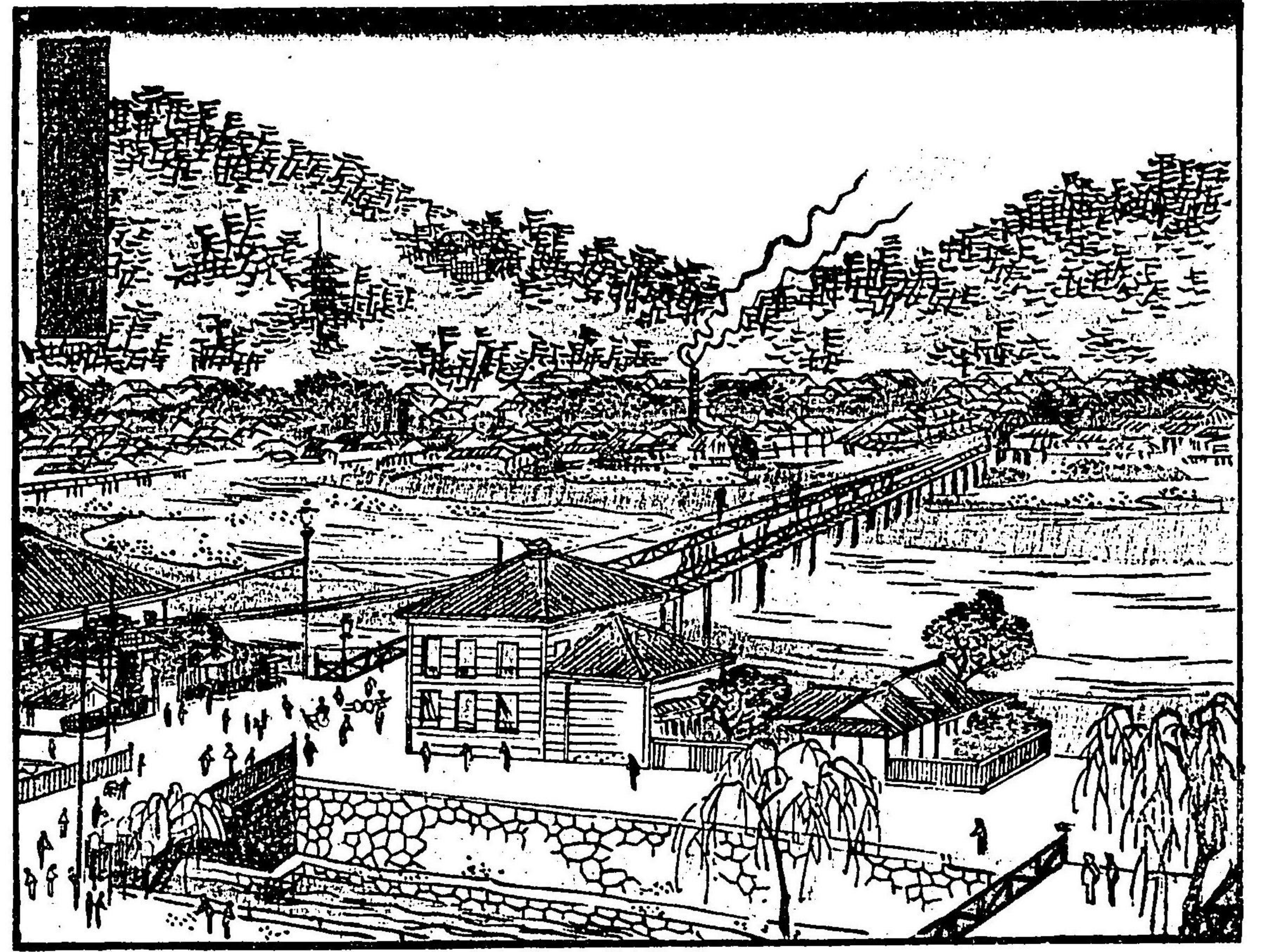
大和郡一の橋本今熊野村

此言字本号基弘法大沙兼久元寺
本羽津和後新津沙再興す天台其言
祿淨四字兼季す四條院天皇ハ後新和
尚の再来一終つと後の山上ハ歷然天皇
の陵アリ

Semiūjl.



Cojooashi.



五條大橋 加茂川に架す

天正十九年豊臣秀吉公六條防門に石造の大橋を架し五條橋通と号す長サ七十四町建昔の五條通に今の相原通あり

六波羅密寺 相原通大和大路の東

古言宗本寺土面觀世音堂也上人の作西國二十三所順札十七番札所あり

建仁寺 大和大路四條の南

後宗五山第三臨濟建仁寺派大本山開山千光國沙建仁二年將軍源賴朝家安地を寄附す同三年伽藍を造立せり

佛老古門跡 佛老古通柳の傍の西

出宗佛老古依臨本山宗祖見生大沙の法嗣生佛上人開基也古言見生大師大沙自作の像あり古初に興正と号す

因幡藥師堂 相原通鳥居の東

古言宗新義派本寺薬師堂本邦の先朝後沙行平卿の息也因幡玉加苗の海産より出現の靈像あり

壬生寺 佛老古通ふ本の末

先言宗大和國招提寺派本寺地蔵尊堂
形作圓蓋三井古快賢大僧都中興象堂
上人大意佛を始め四月十四日より執りす

嶋原

朱雀寺不在

此地往昔ハ鴻臚館の地あり寛永十八年六
條より今の地ハ移す毎年四月廿日廓内又
て古史道中を古寺跡を群集す

六孫王神社 西ハ條振筭不在

祭神六孫王源經基公也將軍德川氏神殿
を造堂一徳家の祖神と崇む

東寺

洛南高寺村不在

先言宗古義派護國寺と号日本総本山
也系創ハ源義天皇弘仁四年嵩山伽藍の
地ハ大内裏清隆館の左寺を空海ハ移り
影寺と弘法大師の像をあすを本寺
法師也東儀本寺大日如來弘法大師
作羅城門ハ暴風の為ハ吹壊き今礎石
のみ残る

Tōjidaishidō.



明治廿六年九月五日印刷
同 年九月十四日發行

定價金三十拾五錢

著作者 淺井廣信

京都市下京區東洞院万壽寺奥深草町三番戶

版 權 所 有

發行者 鳥居又七
印刷者

大發賣所

京都市寺町通四條北入

版權登錄

同 三條通御幸町角

大谷仁兵衛

同 寺町通二條南入

山田直三郎

